
明日への意思

臘条 司

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

明日への意思

【ZPDF】

Z0470B

【作者名】

臘条 司

【あらすじ】

突然の病に侵された少女の、とある一夜のお話。あなただったらこんな時、何を思いますか？

(前書き)

以前、思い付きでパートと書いたモノです。
大したものでもないので、あまり期待しないで下さい。

7月12日 午後 11時 47分

わたしは大好きな読書を終えて、部屋の明かりを消した。
この病院は都市部から大きく離れているせいか、深夜ともなれば
薄気味悪いくらいの静寂に包まれる。

病院が気味悪いのは、しようがないかも、だけど。
改めてシンと静まり返った夜の闇を見渡してみる。

“静寂”と呼ぶには静か過ぎるこの静けさは、耳が痛いような気がする程に五月蠅い。

本当に、静かな……

わたしがこの病院に来たのは、五日前。

その日のわたしは、朝から少し熱っぽかったと思う。
でも、ただの風邪だろう、って甘く見ていた。

薬を飲んで学校へ行つたのだけれど、体育の時間に急に気持ちが悪くなつて、そのままわたしは意識を失つてしまつた。

その後の事はよく覚えていない。

目を覚ました時には、この病院のベッドの上で横になつていた。

お父さんの話では、救急車を呼んだりして大変だつたらしい。

病院関係者だつた父はその立場を利用して、人見知りの激しいわたくしに個室まで用意してくれた。

頼りになる父で、良かつたとは思つけれど、それつて“職権乱用つてやつじやないかな？”

ちょっぴり、不安。

お母さんの話では、わたしが倒れた事を聞いた時、パニックになつてしまつたらしい。

娘のわたしがこんな状態なのに、自分までお医者さんに鎮静剤を打つてもらうことになつて恥ずかしい、なんて言つていた。自分の母親が、ちょっとびりかわいいなつて思つたのは、これが初めてかもしない。

これは、新発見だ。

そんな事を考えながら、窓の外に浮かぶ月を眺めていた。
青さすらも感じさせるような夜空、その遙か上有る、真ん丸なお月様。

都心のビル群が、その月に向かつて伸びている。
この病院の窓は、どれもが秀逸な風景画みたいだ。
わたしはこの絵に、『月までどビナ』と名付けよう、と思つた。

大丈夫……わたしは、明日には……

その時だ。

開けておいた窓の隙間から、一匹の虫が舞い込んできたのは。

こんな時期に、しかもこんな時間に。珍しいな……

そのこはわたしのところまでやつてくると、ベッドの端に止まつて何かを訴えるように、淡い緑の明滅を繰り返した。

うん、きっと、このこもわたしを励ましてくれているのだろう。
こんな病氣に負けるな、つて……。もつと、生きるんだ、つて……。

大丈夫……明日の、わたしは……

そう、わたしは病気なんだ。

病名は何だか長つたらしくて、舌を噛みそつなものだつたと思つ

けど、忘れてしました。

覚えていることは、それがとても深刻なものだった、ということ。
そして、できるだけ早く手術をしなければならない、ということ。
でもね、その手術が明日あるんだよ。

そうすれば、きっとわたしは良くなる。また、いつも通りの日々
が送れるようになる。

「だから、心配しないで、ね？」

そうわたしが言うと、茧は再び舞い上がり、部屋の中を飛び回り
始めた。

大丈夫、大丈夫……わたしはきっと、大丈夫。

何度もかの眩きを心中で漏らす。

父が、母が、先生が、友達が、何度もかけてくれた、言葉。
茧の励ましと、この言葉のおかげで、安心してしまったのだろう
か？

なんだか、とても眠くなってきた……

きょう、もう、ねむ、う……
そ、すれ、わたし……き、と……

7月13日 午前 0時 11分

部屋を舞っていた茧は、緑の明滅を繰り返しながら窓を出で、
ふわりふわりと、月を目指して空へと昇つていった。

(後書き)

あとがき

お付き合いで下さり、ありがとうございました。
いかがでしたでしょうか?

この少女、その後どうなったのでしょうか?
.....?

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0470b/>

明日への意思

2011年1月8日21時40分発行